

12.24 2学期終業式 校長講話

今日で86日間の2学期が終了します。

ふりかえてみて、どうだったでしょうか。

思うようにならない部分もあったかもしれませんが、2学期にがんばった自分、クラスの仲間をお互いに認め合い、ほめたり、励まし合ったりしてほしいと思います。

コロナ禍にあって、お互いによくがんばった2学期だったと感じます。

「本当にお疲れさまでした。」

生徒会の頑張りで印象に残ったことは先日の生徒総会の終わりにお話した通りです。

3年生のみなさん、素晴らしい生徒会活動をありがとうございました。

先日行われた2学期の学校評価アンケートについて触れます。

- ・話し合いを通して、自分の考えを深めたり、広めたりしている。
- ・筋道立てて考えたり、気づいたことを適切に伝えたりしている。
- ・自分にはよいところがある。
- ・自分で計画を立てて、自分に必要な課題を家庭学習で取り組んでいる。

これらの授業に関する質問に対して、「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が1学期に比べて増えていました。

これらの質問項目は、本校が目指す、自己調整学習力・論理的思考力・自己有用感につながるものです。

生徒のみなさん、先生方の取組に感謝を申し上げます。

今回、学年ごとに様子をみると、印象に残ったことがありました。

それは、3年生の以下の質問項目です。

- ・授業で「わからない」「できない」ことは仲間に聞いて解決しようとしている。
- ・仲間のよさを理解し、思いやりをもって接することができる。

この2つは、肯定的な回答が98.8%、97.6%と、とても高い回答でした。

また、次の項目はいずれも90%を超えていました。

- ・「わかった」「できた」と感じる授業が多い。
- ・話し合いを通して、自分の考えを深めたり、広めたりしている。
- ・学校や学級で、安心して生活できている。
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると感じている。
- ・お家の人は自分のよいところを認めてくれていると感じる。

これは、本校で力を入れている「学びづくり」と「関係づくり」における3年生の成長として受け止めました。

ほかの質問でもそうですが、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答している皆さんの気持ちや思いにも耳を傾け、大事にしていきたいと考えます。

2学期には、去る10月4日に曾根原祐二先生が、突然のご病気でお亡くなりになるという、大変悲しい出来事がありました。

曾根原先生からは、当たり前の日常生活を大事にすること、いつも自分のベストを尽くす大切さ、お互いの存在を大事にすることを教えていただいたように思います。

曾根原祐二先生のお父様は、「祐二（曾根原先生）の分まで長生きし、がんばってください」とおっしゃっていました。

曾根原先生も、私たち生徒のみなさんや職員が、明るく前向きに、元気に過ごすことを望んでいらっしゃると思います。その思いに応えたいと心から思います。

3学期は、1年間のまとめとともに、次のステップに向かう準備期間となります。

新しい年を迎えると、新しい夢や目標をもつことが大切です。

その夢や目標に向かう自分を大切にしてほしいと思います。

新型コロナウイルスは、かからないにこしたことはありません。感染予防にも努めてください。

SNSでも、リアルな世界でも悪いことはしません。

病気やケガ、事故等に十分気をつけ、良いお年をお迎えください。

終わります。